

学校図書館支援センター通信 NO.87 3月号

平成26年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

平成26年度 文部科学省「確かな学力の育成に係る実践的調査研究 学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」 第2回事業委員会・協力校合同会議

2月13日に教育センターにて、今年度の文部科学省委託研究のまとめとなる「第2回 事業委員会・協力校合同会議」が開催されました。事業委員の皆様と協力校の関係者が集まり、今年度の研究の成果と課題について話し合いました。

【第七中学校】研究協力校を続けているため、授業の中で学校図書館を活用しようという意識の高い先生方が多く、授業内容もオリジナル性に富んできている。

【塩焼小学校】授業での活用だけでなく、読書講演会や塩焼幼稚園との交流「にじいろの会」などの行事が多く、様々な場面で図書が活用されている。

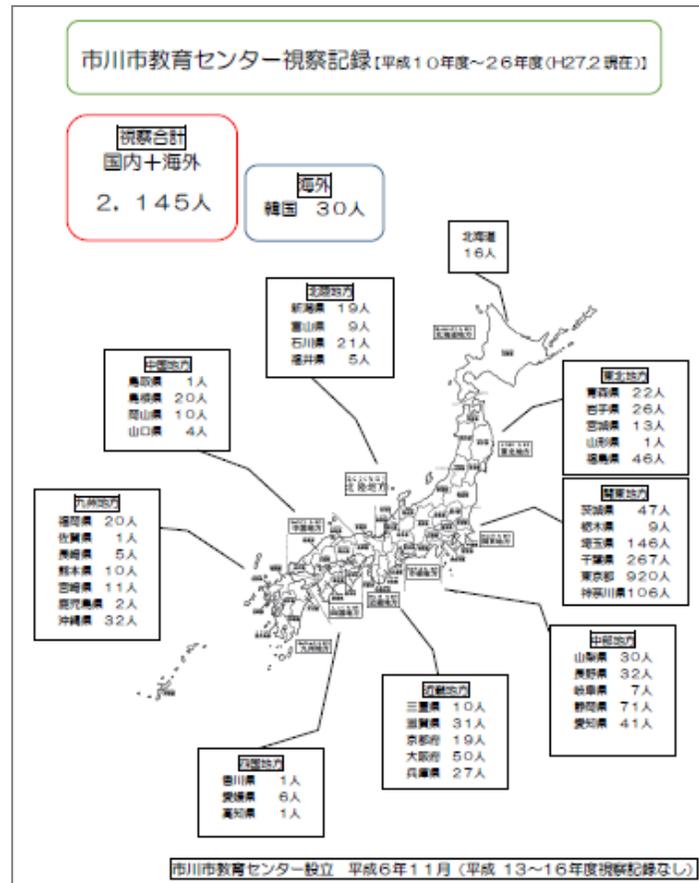
【新井小学校】研究協力校となって2年目を迎え、授業での活用が増え、学校図書館を活用した単元数も大幅に増加し、先生方の意識が変わってきた。

これらの研究の成果は、研究紀要にまとめ来年度始めに各学校へ配付しますので、学校図書館を活用した授業等でご活用ください。



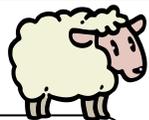
ようこそ「読書の街・市川」へ！

市川市には、学校図書館を活用した授業の視察に、毎年、全国各地からたくさんの方々が訪れます。毎回、子どもたちが、図書や新聞、インターネット等を活用しながら調べ学習を行ったり、教科書教材と並行して様々な図書を読み比べて、お互いの感想を述べ合ったりする姿を通して、子どもの学ぶ意欲や先生方の授業への熱意を感じていただいています。本市は「読書の街・市川」と呼ばれ、全国に先駆けて、読書活動を推進してきました。知識基盤社会を生き抜く子どもたちを育成するためには、様々な情報を取捨選択し、的確に判断するスキルを身に付けさせることが大切です。図書は、情報収集のための重要なアイテムの一つです。授業を通して一冊でも多くの図書と出会えるように授業内容の工夫改善に努め、更なる授業力の向上を図っていただきたいと思います。



図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

工藤直子先生からお返事が来ました！

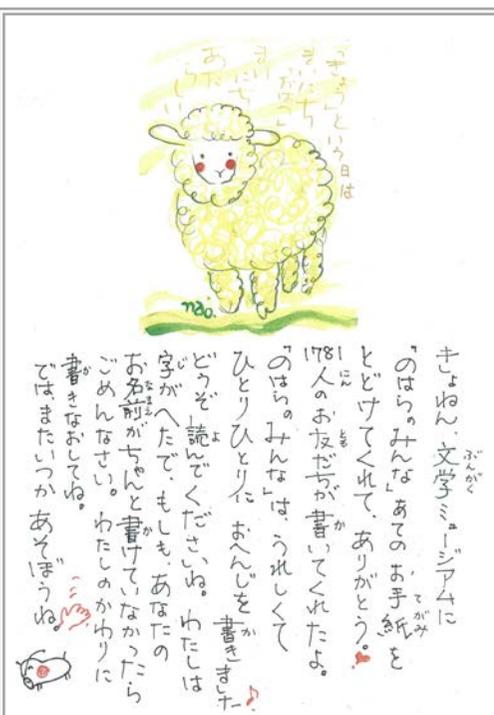
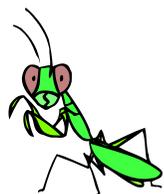


昨年7月～8月にかけて、文学ミュージアムで行われた工藤直子先生のイベント「のはらむらのみんなにお手紙を出そう」で、市内の小・中学生が送った手紙、1,781通に、工藤先生ご本人から、直筆のお返事が届きました。

右の手紙は、学校宛てのものですが、お手紙を書いた子どもたち一人ひとりにもオリジナルのお手紙が届いています。手紙の受け取り方法は、すでに文学ミュージアムから学校を通して連絡が行われていると思います。工藤先生の優しい気持ちの詰まったお手紙と一緒に、「のはらむら」の仲間たちの楽しい詩が思い出されることでしょうか。

春は、もうすぐそこまで来ています。みなさんの周りにも「のはらむら」の仲間がそろそろ顔を出すところではないでしょうか。

図書館にも4類の棚にたくさんの仲間が待っていると思います。ちょっと覗いてみては、いかがでしょうか。



四中では、10年前から「市川こどもの本の会」の方々に来校していただき「お話し会」を実施してきました。今年度も1月下旬に1、2年生と大空学級で開催されました。当日は、各クラスの図書委員がお迎え・司会進行・クラス紹介・感想、お見送りまで、時間を計算しながら頑張りました。図書委員全員が、やり遂げた満足感を味わったようです。また、普段は自分たちが手にとらないような本の数々を紹介していただき、生徒の感想からも充実した時間だったと、感じられました。このような機会を通して、読書の幅を広げていって欲しいと思っています。市川市立第四中学校 学校図書館員 出澤 佳子

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

